

天国のありさちゃんに届け



本番に向かって、家族や共演者と練習する「のぶか」
（右から二人目）＝愛荘町岩倉で
あちゃん

日々の感動など弾き語り

五回目の今回は、共演者の発表も含め三十六曲を奏でる。一番伝えたのは、「ありさちゃん」との出会いから生まれた五曲だ。

ありさちゃんは小学五年だった昨年一月、脳腫瘍で倒れた。入院先に置いた前回演奏会のチラシがきっかけで「つた日記」を愛聴するようになった家族が、前田さんと手紙を送ったのが縁で、交流が始まったという。

ミニ演奏会などを励ましてきたが、今年四月、旅立ってしまった。失明しても第一に周囲を気遣う優しいありさちゃんの性格を表した曲「そのままでいいんだよ」などをエピソードを交えて届ける。

午後一時半から、ハーティーセンター秦荘の大ホールで。入場無料。自作CD（一枚千五百円）の販売もある。

愛荘の前田さん あす演奏会

自宅で里子ら一人と暮らす愛荘町岩倉の「のぶかあちゃん」こと前田のぶえさんが三十一年、日々の感動や失敗をピアノで弾き語る演奏会「つた日記」を町内で開く。一方月前に病氣で亡くなった県内の中学生「ありさちゃん」の思いを代弁した新曲の披露もある。

（河辺嘉奈子）

約二十年前から里親を始めた前田さん。妻子三人を含めて子育てをしながら「自分への応援歌」を作り続いている。十一、三曲入りのCDは今年、一枚を数えた。

「社会のさまざまな問題は、すぐには解決しない。でも、子どもたちには幸せになってほしい。そのためには、大人がほっこりしないといけない」。二〇〇九年から、手作り演奏会を家族や友人と始め、共感の輪が広がっている。

五回目の今回は、共演者の発表も含め三十六曲を奏でる。一番伝えたのは、「ありさちゃん」との出会いから生まれた五曲だ。

びわこ版